

令和3年度
事業報告書
決算書

一般社団法人 静岡県発明協会

【第1号議案】

令和3年度事業報告

会員数 令和3年4月 1日現在 法人会員71 個人会員54 賛助会員6 計131
 令和4年3月31日現在 法人会員71 個人会員53 賛助会員6 計130

1. 発明の奨励に関する表彰及び展覧会

①全国発明表彰

本発明表彰は、皇室より毎年御下賜金を拝受し、そのご趣旨に沿い、発明の奨励、育成を図り、我が国の科学技術の向上と産業の発展に寄与するため、発明協会が主催し、文部科学省、経済産業省、特許庁、日本経済団体連合会、日本商工会議所、日本弁理士会及び朝日新聞社の後援を得て、全国を対象に、独創性に富む極めて優れた発明を完成された方々及び発明の指導、育成に貢献された方々等の功績を称え、表彰している。本年度は、本県から2社2件を推薦したが、受賞はなかった。

表彰式は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加人数を制限しての開催となり、式の様子をオンラインライブ中継しました。

令和3年度全国発明表彰式

日 時 令和3年6月22日（火）午後3時10分～午後4時10分

会 場 オークラ東京 プレステージタワー1階「平安の間Ⅱ・Ⅲ」

②関東地方発明表彰

本発明表彰は、地方において優秀な発明と認められるとともに、その実施効果が高く、地域産業の向上に寄与された方々の功績を顕彰するものである。本年度の表彰受賞総数は158件522名で、うち本県関係は下記の一覧のとおり14件50名を推薦した。

表彰式は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、感染対策を十分に行う中で開催された。

令和3年度関東地方発明表彰式

日 時 令和3年11月12日（金）

会 場 ホテルメルパルク長野

令和3年度関東地方発明表彰受賞者一覧

受賞名	発明の名称	受賞者名	特許・登録番号	会社名
文部科学大臣賞	多気筒ロータリ圧縮機の吐出ポート構造	平山 卓也	第6022247号	東芝キャリア株式会社
中小企業庁長官賞	アーチ型フレームの折畳電動アシスト自転車	袴田 良	第1534837号 (意匠登録)	株式会社デイトナ
		高橋 晃太		
		吉良 好弘		
静岡県知事賞	自動車用ヘッドランプクリーナー	阪井 健	第4641180号	株式会社小糸製作所
		佐藤 誠晃		
静岡県発明協会会長賞	強風時におけるエアコン室外機の発電電圧保護技術	畠山 和徳	第4989591号	三菱電機株式会社 住環境研究開発センター
		岸和田 優		三菱電機株式会社 コンポネット製造技術センター
		坂廻邊和憲		三菱電機株式会社 冷熱システム製作所
		山田 倫雄		三菱電機株式会社静岡製作所

静岡県 発明協会会長賞	液晶ポリマーのモータ 絶縁材への適用開発	松永 訓明	第 3801132 号	三菱電機株式会社静岡製作所
		花木 隆行		三菱電機株式会社
		柴山 勝巳		三菱電機株式会社静岡製作所
		及川 智明		三菱電機株式会社 住環境研究開発センター
		田島 庸賀		三菱電機株式会社静岡製作所
		奥川 貞美		菱電旭テクニカ株式会社
		尾村 和也		三菱電機株式会社静岡製作所
		荒井 利夫		三菱電機株式会社静岡製作所
発明奨励賞	ホテルや旅館の客室に 適した電子冷蔵庫	松下 章弘	第 6373234 号	三菱電機エンジニアリング株式会社
発明奨励賞	可変速圧縮機の末端圧力 予測制御	長谷 征和	第 4786443 号	株式会社日立産機システム
		松田 洋幸		元株式会社日立産機システム
発明奨励賞	空調機用室外熱交換器の フィン形状	中村 伸	第 6465970 号	三菱電機株式会社 住環境研究開発センター
		石橋 晃		三菱電機株式会社静岡製作所
		高橋 智彦		
		小野 洵一		
		加藤 央平		
		丹田 翼		三菱電機株式会社生産技術センター
		木谷 健一		元三菱電機株式会社静岡製作所
		寺嶋 亮		
緒方 秀成				
発明奨励賞	R410A マルチ空調オール インバータ制御	山本 敏浩	第 4440883 号	東芝キャリア株式会社
		中馬 善裕		
		山根 宏昌		
		上野 聖隆		
発明奨励賞	空気調和機の人を中心と したセンシング技術	矢野 裕信	第 4859926 号	三菱電機株式会社静岡製作所
		松本 崇		元 三菱電機株式会社 本社
		望月 昌二		三菱電機株式会社 自動車機器開発センター
		渡邊信太郎		三菱電機株式会社 先端技術総合研究所
		鹿毛 裕史		三菱電機マイクロソフトウエア株式会社 静岡支所
		佐藤 政芳		三菱電機株式会社 静岡製作所
		平野 誠		三菱電機株式会社 静岡製作所
		日高 彰		三菱電機株式会社 静岡製作所

発明奨励賞	金属による加飾に適したシート	暮沼 侑士	第 6783368 号	特種東海製紙株式会社
		羽明 駿		株式会社トライフ
発明奨励賞	快適性と汚れ防止を両立した空気調和機	田中 健裕	第 6157339 号	三菱電機株式会社静岡製作所
		高木 昌彦		
		栗原 誠		三菱電機株式会社 住環境研究開発センター
		河野 惇史		
発明奨励賞	インクジェットヘッド	鈴木伊左雄	第 6467487 号	東芝テック株式会社
発明奨励賞	決済端末	青木 平安	第 6633150 号	東芝テック株式会社

2. 青少年の創造性開発及び育成

①学生児童発明くふう展・未来の科学の夢絵画展

当協会が主催し、静岡県、県教育委員会、関東経済産業局、(公社)発明協会、日本弁理士会、静岡市教育委員会、県市長会、県町村会、(公財)静岡県産業振興財団、各報道機関の後援により「第69回静岡県学生児童発明くふう展」と「第44回静岡県未来の科学の夢絵画展」を開催した。

展示及び表彰式は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止し、賞状については、受賞者の在籍する各学校に送付し、各受賞者に渡すよう依頼した。

県発明協会会長賞については、県協会会長が各学校を訪問し、賞状を各受賞者に授与した。

ア 第69回静岡県学生児童発明くふう展

我が国の将来を担う児童生徒に、発明くふうの楽しさを体得してもらうとともに、優れた発明くふう作品を顕彰することにより、創造性豊かな人間形成を図る。

	応募数	入選数
小学生	61点	18点
中学生	19点	10点
合計	80点	28点

上記県展で入選した作品から、小学生9点、中学生9点を第80回全日本学生児童発明くふう展に推薦出品し、次の方々を受賞した。

受賞名	作品名	学校名	学年	氏名
発明協会会長賞	しんせつなビニールロール	浜松市立広沢小学校	小2	川上 将太
奨励賞	コンパクトで便利!シュバッと出せるゴミ袋	浜松市立中部中学校	中1	赤堀 玲
奨励賞	くつつかないC型コースター	浜松市立都田中学校	中2	森下 祐樹
入選	くもの巣ポイポイ	浜松市立南の星小学校	小6	小林 頼武
入選	マルチブックエンド	富士市立須津中学校	中2	後藤 輝基

イ 第44回静岡県未来の科学の夢絵画展

未来の科学に関する夢を絵画として表現してもらうとともに、優れた作品を顕彰することにより、次代を担う児童生徒の科学的な探求心と創造力の伸長を図る。

	応募数	入選数
小学生	18点	10点
中学生	130点	13点
合計	148点	23点

上記県展で入選した23点を第44回未来の科学の夢絵画展に推薦出品し、次の方々を受賞した。

受賞名	作品名	学校名	学年	氏名
経済産業大臣賞	水質改善プランクトンカプセル	湖西市立岡崎中学校	中1	小濱 朱音
発明協会会長賞	バリア型マスク	浜松市立開成中学校	中3	長崎明香音
優秀賞	楽々スーパー?!スーパーカー!!	湖西市立鷺津小学校	小5	田内椿百子
奨励賞	動物語翻訳イヤホン	浜松市立富塚中学校	中2	河合 華子
奨励賞	視覚化による痛みの計測	浜松市立開成中学校	中2	寺田 和音
奨励賞	空気の膜でバリア	私立日本大学三島中学校	中2	兵頭 咲姫
奨励賞	発砲スチロールハウス～防災から減災へ～	浜松市立富塚中学校	中3	柴久喜晴那

ウ 後 援

児童生徒の創造性開発育成のため、次のとおり後援した。

- 1) 第56回富士市発明くふう展後援
- 2) 第35回島田市小中学生アイデア工作展後援

②児童・生徒におけるものづくり体験の機会創出促進業務（静岡県からの受託事業）

児童・生徒のものづくり体験の場を提供する県内少年少女発明クラブの活動を広く周知し、新たなクラブの設置を促進するため、当協会ホームページにPRページを開設し、保守管理を行った。

3. 知的財産権制度の普及啓発

県及び独立行政法人工業所有権情報・研修館から受託した産業財産権に関する事業を実施し、知的財産権制度の普及啓発に努めた。

①知的財産活用促進事業（静岡県からの受託事業）

中小企業の開放特許や大学・研究機関の研究成果である特許技術等を掘り起こし、地域の中小企業に積極的に技術移転を行った。

実施体制：特許流通アドバイザー 2名（非常勤）

項目	計画(件)	実績(件)	達成率(%)	前年度実績比	参考 (2年度)
訪問企業件数	350	306	87	101	304
来訪指導件数	52	67	129	88	76
マッチング件数	70	79	113	113	70
成約件数	25	22	88	96	23
事業化件数	6	4	67	50	8
講習／講演	55	61	111	109	56

②特許マッチング事業

京都大学で生まれた発明・研究成果を会員企業や地域の中小企業に紹介する知的財産マッチング会を静岡県産業振興財団と共催した。

京都大学・TLO 京都 知財マッチング会

日 時 令和 3 年 11 月 15 日 (木)

会 場 静岡県産業経済会館 3階特別会議室 (Web ミーティング併用)

知的財産の提供 京都大学 産官学連携本部

③知財総合支援窓口運営業務（INPIT（独立行政法人工業所有権情報・研修館）からの受託事業）

中小企業等が抱える知的財産権に関する悩みや課題をワンストップで解決できる支援を行うため、知財総合支援窓口を設置した。

ア 支援の対象

中小・ベンチャー企業及び個人事業主、創業予定の個人（以下「中小企業等」という。）を対象として実施した。

イ 実施体制

中部（本部） 3名（常勤1名、非常勤2名）
東部（沼津支所）2名（常勤1名、非常勤1名）
西部（浜松支所）2名（常勤2名）

ウ 知財専門家の活用

窓口支援担当者及び相談対応者は、中小企業等の悩みや課題を解決するため、知財専門家と協働して、窓口での相談支援や中小企業等に直接訪問して解決支援を行った。

(1) 候補者の選定

知財専門家の選定にあたっては、弁理士、弁護士及び産業財産権に関する高度かつ専門的知見を有する知財OBや中小企業診断士等の中から、課題解決に適した人材を選定した。

(2) 活動内容

知財専門家は、窓口支援担当者・相談対応者、支援機関等と十分な打ち合わせ（課題の把握、支援先企業の状況の確認等）を行った上で、事業活動の各段階における様々な課題に対応する解決方法等について適切な指導・助言を行い、解決支援を行った。

エ 支援実績

項目	目標(件)	実績(件)	達成率(%)	前年度実績比	参考 (2年度)
窓口相談受付件数	2,900	2,831	97.6	97.8	2,895
周知活動件数	250	256	102.4	92.1	278
専門家活用件数	270	384	142.2	94.6	406
連携支援件数	360	388	107.8	109.6	354
新規相談件数	530	456	86.0	86.9	525
顧客満足度調査結果	90.0	98.8	—	—	98.4

オ 電子出願支援用端末機器利用実績

電子出願支援用端末機器利用者は、58人で、1月当たり約5人が利用している。

職業別では、中小企業の利用が58人中50人と大部分を占めており、地域別では、静岡市17人、島田市11人、藤枝市7人、富士市4人、焼津市・牧之原市各3人、その他13人となっている。

カ 連携会議の開催状況

支援機関との連携強化を図るため、知財総合支援窓口運営業務支援機関連携会議を、本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、感染対策を十分に行う中で以下の通り2回開催した。

第1回：令和3年6月28日（木）WEB開催

第2回：令和4年1月17日（月）静岡県産業経済会館3階第2会議室

会議の参加者は、関東経済産業局、INPIT、静岡県、静岡市、浜松市、沼津市、（公財）静岡県産業振興財団、（公財）浜松地域イノベーション推進機構、（公社）静岡県国際経済振興会、静岡県商工会連合会、静岡県中小企業団体中央会、（公社）静岡県農業振興公社、三島信用金庫、日本貿易振興機構（ジェトロ）静岡貿易情報センター・浜松貿易情報センター、静岡県よろず支援拠点、日本弁理士会東海会静岡県委員会、静岡県警である。各機関には、各々の機関の管理者や担当者が集まり、本事業の目的を再確認し、各々の活動状況や協働支援の実例、課題や問題点、今後の活動などについて協議・検討が行われ、より一層の連携強化が図られた。

キ 事業の周知、広報活動の実績

(1) ホームページの整備

静岡県発明協会のトップページに「知財総合支援窓口」のバナーを設け、主な支援内容とともに、窓口担当者や支援事例を紹介している。また、連絡先や案内地図も表示できるようにしており、事業の周知に努めた。

(2) 事業内容リーフレット等の作成

見開き A3 のリーフレットを、合計 6,000 部作成、配布した。配布先は、商工会議所、商工会等の支援機関や金融機関等である。

(3) パンフレット送付

知財総合支援窓口の利用促進を図るため、昨年度実施したアンケート調査の結果において、有効回答のあった企業宛に再度パンフレットを送付した。(パンフレット送付先 東部地域 80 社、中部地域 77 社、西部地域 123 社、計 280 社)

(4) 包括連携協定の締結

企業における知的財産の活用促進を通じて、地域経済の活力創出を目指し、金融機関との連携を強化するため、三島信用金庫と包括連携協定を締結した。

(5) 広告配信サービス「シラレル」を活用

BtoB 向け広告配信プラットフォーム「シラレル」を活用し、県内中小企業の製造・卸・小売業者を抽出し、各種メディアを使ってピンポイントで広告配信した。「シラレル」には、バナー広告をクリックした企業をリスト化することができる利点があり、周知活動に活用した。

実施した 2 か月間の結果は、5,493 件のクリック数（クリック率 0.12%）があり、広告がクリックされることで、ホームページへのアクセス数等の増加に大きく寄与し、認知度の向上につながった。

(6) YouTube 動画の活用

より多くの人に興味、関心を持ってもらうよう「INPIT 静岡県知財総合支援窓口」PR 動画のコンテンツを配信し、事業周知に努めた。また、関東経済産業局主催の静岡県知的財産セミナーで窓口紹介に活用した。

(7) 広告媒体の活用

公益財団法人静岡県産業振興財団が発行している「融資・助成金等の手引き」に知財総合支援窓口の紹介について掲載した。

4. 公報等各種情報提供

① 県内の特許公報等分類別動向調査 (R3.4~R4.3)

区分 (注1)	A	B	C	D	E	F	G	H	合計
公開特許公報	321	758	86	17	80	362	430	387	2,441
特許公報	222	561	78	12	78	316	357	363	1,987
登録実用新案公報	48	26	2	2	12	7	1	2	100
公表特許公報	0	0	0	0	0	0	0	1	1
再公表特許公報 (注2)	23	59	9	1	2	58	58	52	262
合計	614	1,404	175	32	172	743	846	805	4,791

(注1) A=生活必需品. B=処理操作・運輸. C=化学及び冶金. D=繊維及び紙
E=固定構造物. F=機械工学・照明・加熱・武器・爆破. G=物理学. H=電気

(注2) PCT (国際特許協力条約) に基づく国際出願の内容を日本語で公表した公報

②先行技術調査の奨励

特許や実用新案の出願時における事前調査並びに特許審査請求時における事前調査を奨励、実施した。

③特許公報類の検索・閲覧サービス

特許情報プラットフォーム（J-PlatPat）を活用した特許情報の検索・閲覧サービスを行った。

5. 知的財産権に係る人材育成等セミナー・講演会・交流会

研究者や企業関係者等を講師に迎えた講演会を開催し、講師との交流や実践的な連携により、県内企業の知的財産権に係る啓発と利活用の促進を図った。

ア 研究会活動 「産業財産権関連実務研究部会（通称：パテント部会）」

知財に関する様々な問題が起こらないよう、また企業のビジネスに知財を有効に活用できるよう、どのように知財管理を進めるべきかを探し出すため、企業の中で必要だとされている知財管理に関するテーマを決め、講演会や勉強会を開催した。

本年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、感染対策を十分に行う中で開催した。

（6月は中止、6回はリモートで、3回はリアル開催した。）

回数	月日	講演会・研究会等	参加者	会場
第1回	4月21日	講演会 「“良い名前”の製品はなぜ売れるのか？」 講師：INPIT静岡県知財総合支援窓口 窓口支援担当者 中村 宏之 氏	26名	リモート
第2回	5月19日	講演会 「他社との連携におけるトラブル事例と情報管理・契約のポイント」 講師：日機装（株）知的財産室 室長 中村 仁 氏	29名	リモート
第3回	7月21日	講演会 「事例にみる共同研究/開発のトラブル防止策&解決策」 講師：よろず知財戦略コンサルティング 代表 萬 秀憲 氏	34名	リモート
第4回	9月15日	企業紹介 講師：矢崎総業（株）知的財産センター所属 弁理士 中野 雅章 氏 講演会 「国内・外国の特許情報に関する調査実務の実際」 講師：INPIT 静岡県知財総合支援窓口 相談対応者 吉田 典江 氏	33名	リモート
第5回	10月20日	講演会 「特許流通アドバイザー迄を経験してきたと思う、 中小企業における特許担当の役割」 講師：静岡県特許流通アドバイザー 風間 泰寛 氏	24名	ペガサート

第6回	11月17日	講演会 「不正競争防止法2条1項1号・2号・3号のおさらい ・・・商標法・意匠法と比較しながら」 講師：静岡のぞみ法律特許事務所 弁護士・弁理士 坂野 史子 氏	31名	ペガサート
第7回	12月15日	勉強会 「もうけの知財教室」 進行：静岡製機（株） 山口 拓也 氏	21名	ペガサート
第8回	2月16日	講演会 「技術をブランド化する」 講師：特許業務法人きさ特許商標事務所 弁理士 西野 吉徳 氏 弁理士 渋井 静香 氏	29名	リモート
第9回	3月16日	講演会 「商標管理のリスクと対策－国内＋米中欧」 講師：ユアサハラ法律特許事務所 パートナー・弁理士 青木 博通 氏	27名	リモート

イ 知的財産活用基本セミナー「知財管理ことはじめ」

参加者のビジネスの内容、企業規模、知財への関わり程度等を考慮して、企業の現状の問題点、課題等を見つけ出し、討論形式により、その企業にふさわしい知財管理を探し出す。

本年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、感染対策を十分に行う中で1回開催した。
(計画していた3回のうち、2回中止、1回リアル開催した。)

第1回	12月15日	①「特許料、審査請求料の新減免制度」 ②「特許料、登録料の自動納付制度（無料）」 講師：元旭テック（株） 知的財産グループ長 鈴木 直博 氏	6名	ペガサート
-----	--------	---	----	-------

ウ 知的財産権制度説明会（発明推進協会への協力事業）

本年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、計画していた2回をいずれも中止とし、オンラインによる開催となった。

6. 会議等

(1) 会計監査 令和3年5月11日 当協会

(2) 総会 令和3年6月15日 静岡県産業経済会館

(3) 理事会 令和3年5月24日 静岡県産業経済会館
令和3年6月15日 静岡県産業経済会館
令和4年3月17日 静岡県産業経済会館

(4) パテント部会幹事会
令和3年4月21日 他8回

(5) 関東地方発明表彰地方選考委員会
令和3年8月25日 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参集せず、書面による審議にて開催

(6) 関東地方発明表彰式典

令和3年11月12日 ホテルメルパルク長野

(新型コロナウイルス感染拡大防止のため、関東地域発明協会会長懇談会は中止)

7. 各種情報の収集及び提供事業

(1) ホームページによる情報発信

キッズコーナー及び会員入会ページのリニューアル、情報の随時更新、メールマガジンなどにより最新の情報を発信している。

(2) 会報誌による情報発信（「知財情報しずおか」を発行）

令和3年6月1日 2021 VOL.7 No.41

令和3年9月1日 2021 VOL.7 No.42

令和3年12月1日 2021 VOL.7 No.43

令和4年3月1日 2022 VOL.7 No.44

(3) PR活動

全国的に会員が減少している地域発明協会が多い中、積極的なPR活動に努め、毎月Google広告に、当協会のPRと入会案内を掲載した。

8. 弁理士会静岡県委員会へのオブザーバー参加

当協会業務において連携を図る観点から、日本弁理士会東海会静岡県委員会に出席した。

令和3年5月28日 他3回（すべてWEB会議方式による開催）

貸借対照表

一般社団法人静岡県発明協会

令和4年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	26,326,538	37,350,374	▲ 11,023,836
未収入金	24,410,261	12,499,851	11,910,410
流動資産合計	50,736,799	49,850,225	886,574
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当資産	8,459,000	7,185,374	1,273,626
特定資産合計	8,459,000	7,185,374	1,273,626
(2) その他固定資産			
敷金	134,900	134,900	0
ソフトウェア	111,240	222,480	▲ 111,240
その他固定資産合計	246,140	357,380	▲ 111,240
固定資産合計	8,705,140	7,542,754	1,162,386
資産合計	59,441,939	57,392,979	2,048,960
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	2,089,728	2,180,934	▲ 91,206
預り金	968,192	987,907	▲ 19,715
未払消費税	1,306,200	1,417,900	▲ 111,700
未払法人税等	650,000	300,000	350,000
流動負債合計	5,014,120	4,886,741	127,379
2. 固定負債			
退職給付引当金	8,459,000	7,185,374	1,273,626
固定負債合計	8,459,000	7,185,374	1,273,626
負債合計	13,473,120	12,072,115	1,401,005
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	45,968,819	45,320,864	647,955
負債及び正味財産合計	59,441,939	57,392,979	2,048,960

正味財産増減計算書

一般社団法人静岡県発明協会

令和3年4月1日～令和4年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取会費	[3,052,500]	[3,275,000]	[▲ 222,500]
法人会員受取会費	2,280,000	2,430,000	▲ 150,000
個人会員受取会費	717,500	790,000	▲ 72,500
賛助会員受取会費	55,000	55,000	0
② 事業収益	[56,526,284]	[55,738,309]	[787,975]
発明奨励事業収益	400,000	400,000	0
情報サービス複写事業収益	68,800	55,890	12,910
情報サービス刊行物事業収益	61,357	91,060	▲ 29,703
都道府県受託事業収益	11,288,164	11,600,541	▲ 312,377
情報・研修館受託事業収益	44,707,963	43,502,818	1,205,145
特許庁請負事業収益	0	88,000	▲ 88,000
③ 受取発明奨励等	[50,000]	[50,000]	[0]
受取表彰発明奨励等	50,000	50,000	0
④ 雑収益	[484,657]	[496,704]	[▲ 12,047]
受取利息	505	1,017	▲ 512
雑収益	484,152	495,687	▲ 11,535
経常収益計	60,113,441	59,560,013	553,428
(2) 経常費用			
① 事業費	[54,103,020]	[53,335,326]	[767,694]
発明奨励発明展事業費	1,268,581	1,204,540	64,041
発明奨励表彰式事業費	551,710	519,881	31,829
発明普及会員管理費	70,645	60,837	9,808
特許制度普及事業費	926,525	900,942	25,583
特許情報発信事業費(複写事業)	10,547	2,790	7,757
特許情報発信事業費(刊行物事業)	47,330	60,883	▲ 13,553
特許情報発信事業費(情報検索事業)	13,116	0	13,116
都道府県受託事業費	11,288,164	11,600,541	▲ 312,377
情報・研修館受託事業費	39,926,402	38,984,632	941,770
特許庁請負事業費	0	280	▲ 280
② 人件費	[2,415,091]	[2,618,549]	[▲ 203,458]
給料手当	734,254	1,466,800	▲ 732,546
法定福利費	371,366	672,200	▲ 300,834
退職給付費用	1,273,626	437,760	835,866
福利厚生費	35,845	41,789	▲ 5,944
③ 事務費	[2,317,275]	[2,212,151]	[105,124]
水道光熱費	201,104	197,929	3,175
通信費	223,581	267,096	▲ 43,515
運送費	0	1,390	▲ 1,390
賃借料	397,740	479,100	▲ 81,360
旅費交通費	2,760	4,212	▲ 1,452
消耗品費	433,941	117,082	316,859
会議費	130,095	177,584	▲ 47,489
支払手数料	416,080	424,490	▲ 8,410
諸会費	52,500	52,500	0
租税公課	122,634	66,678	55,956
保守料	215,600	211,200	4,400
広告宣伝費	10,000	101,650	▲ 91,650
ソフトウェア償却費	111,240	111,240	0
雑費	0	0	0
経常費用計	58,835,386	58,166,026	669,360
当期経常増減額	1,278,055	1,393,987	▲ 115,932

正味財産増減計算書

一般社団法人静岡県発明協会

令和3年4月1日～令和4年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	1,278,055	1,393,987	▲ 115,932
法人税、住民税及び事業税	630,100	290,000	340,100
当期一般正味財産増減額	647,955	1,103,987	▲ 456,032
一般正味財産期首残高	45,320,864	44,216,877	1,103,987
一般正味財産期末残高	45,968,819	45,320,864	647,955
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	45,968,819	45,320,864	647,955

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
該当資産無し
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
該当資産無し
- (3) 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産：定率法（ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物及び平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備、構築物は定額法）を採用
無形固定資産：定額法を採用
- (4) 引当金の計上基準
退職給付引当金：職員の退職給付に備えるため期末時点における職員に対する退職給与の自己都合要支給額を計上
なお、未償却の適用時差異残高は、2,656千円（残存償却数4年）であります。
- (5) 消費税等の会計処理
税込方式によっている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	7,185,374	1,273,626	0	8,459,000
合 計	7,185,374	1,273,626	0	8,459,000

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。（単位：円）

科 目	当期末残高	（うち指定正味財 産からの充当額）	（うち一般正味財 産からの充当額）	（うち負債に対 応する額）
特定資産				
退職給付引当資産	8,459,000	（ — ）	（ — ）	（ 8,459,000 ）
合 計	8,459,000	（ 0 ）	（ 0 ）	（ 8,459,000 ）

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
ソフトウェア	556,200	444,960	111,240
合 計	556,200	444,960	111,240

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記2において記載している。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	7,185,374	1,273,626	0	0	8,459,000

財産目録

一般社団法人静岡県発明協会

令和4年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	預金	普通預金	運転資金として 源泉徴収税等	25,358,346 968,192	
		静岡銀行 本店 静岡銀行 本店			
	未収金	静岡県 情報・研修館受託事業	知的財産活用促進事業費残額 知財総合支援窓口運營業務	1,288,164 23,122,097	
流動資産合計				50,736,799	
(固定資産)	特定資産	退職給付引当資産	定期預金 静岡銀行 本店	職員の退職給付に備えるため、 当事業年度末における退職給付 債務に基づき引当している。	8,459,000
	敷金 ソフトウェア	東部(沼津支所) 満喜(株)	沼津支所賃貸敷金 会計ソフト	134,900 111,240	
固定資産合計				8,705,140	
資産合計				59,441,939	
(流動負債)	未払金	静岡年金事務所 補助員 相談担当者 流通AD (株)TOKAI他 NTTファイナンス(株) キャンモンマーケティングジャパン(株) 登崎哲也 ASKUL サイバーパテント 静岡DC キャンモンシステムアンドサポート 日本特許情報機構 (株)TOKAI	3月分社会保険料	226,698	
			知財総合支援窓口運營業務人件費	117,800	
			知財総合支援窓口運營業務人件費	874,000	
			知的財産活用促進事業人件費	704,000	
			2月3月分プロバイダ料金等	4,730	
			3月インターネット回線使用料等	8,162	
			コピー料金	4,330	
			発明クラブwebページ管理費	6,600	
			消耗品	10,540	
			3月分使用料	27,500	
2月3月分webex通信料等	11,220				
給与奉行ソフト移行サービス料	90,750				
3月分出願複写代	2,089				
3月分プロバイダ料金	1,309				
預り金	静岡銀行 本店	源泉徴収税等	968,192		
未払消費税	静岡税務署	3年度消費税	1,306,200		
未払法人税等	静岡税務署	3年度法人税	650,000		
流動負債合計				5,014,120	
(固定負債)	退職給付引当金	定期預金 静岡銀行 本店	職員の退職給付に備えるため、 当事業年度末における退職給付 債務に基づき引当している。	8,459,000	
固定負債合計				8,459,000	
負債合計				13,473,120	
正味財産				45,968,819	

監査報告書

令和3年度事業報告並びに正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録を監査した結果、定款及び各規定に基づいて適正かつ正確に処理されていることを確認致しました。

令和4年5月13日

監事

石垣

明彦



監事

中村

仁

